

〈令和 8 年 5 月 28 日（木曜日） vol. 451〉

~~~~~ トピックス ~~~~~

☆ 燃料油や石油製品等の供給に関する相談窓口の設置について

政府においては、燃料油や石油製品等の供給について、備蓄放出や燃料油の激変緩和措置を含めて、万全の体制をとっているところですが、流通や取引の状況に影響が及ぶ場合に備えて、事業者の皆様からの情報を受け付ける相談窓口を設置しています。

<https://www.maff.go.jp/kinki/press/kikaku/260331.html>（プレスリリース）

☆ 中東情勢関連対策ポータルについて

中東情勢を踏まえた農林水産分野における対応状況に関する資料を掲載しています。

[https://www.maff.go.jp/chuto\\_josei.html](https://www.maff.go.jp/chuto_josei.html)

☆ 「熱中症等対策研修強化期間」について

4月～6月は「熱中症等対策研修強化期間」です。地域で行われている研修に積極的にご参加ください。5月から気温も上がり、熱中症など暑さに起因する事故が増加する危険性がありますので、こまめな休憩や水分・塩分補給などの暑さ対策を実施しましょう。

全ての農業者が共通して身につけておく必要がある、農作業安全に関する知識等を修得する基礎的な研修（基礎研修）用の資料を掲載しています。

[https://www.maff.go.jp/j/seisan/sien/sizai/s\\_kikaika/anzen/kenshu.html](https://www.maff.go.jp/j/seisan/sien/sizai/s_kikaika/anzen/kenshu.html)

[https://www.maff.go.jp/j/seisan/sien/sizai/s\\_kikaika/anzen/jikojoho.html](https://www.maff.go.jp/j/seisan/sien/sizai/s_kikaika/anzen/jikojoho.html)

☆ 2027年国際園芸博覧会（GREEN×EXPO 2027）について

2027年国際園芸博覧会は、気候変動等の世界的な環境変化を踏まえ、我が国が培ってきた自然との関係性の中で、自然環境が持つ多様な機能を暮らしにいかす知恵や文化について、その価値を再評価し、持続可能な社会の形成に活用するとともに、国際的な園芸文化の普及、花と緑があふれ農が身近にある豊かな暮らしの実現、多様な主体の参画等により幸福感が深まる社会を創造することを目的としています。

開催場所：旧上瀬谷通信施設の一部（横浜市）

開催期間：令和9（2027）年3月19日～9月26日

博覧会区域：約100 ha

参加者数：1,500万人（ICT活用等の多様な参加形態を含む）

有料来場者数：1,000万人以上

テーマ：幸せを創る明日の風景（Scenery of the Future for Happiness）

詳細については、以下のウェブサイトをご覧ください。

<https://www.maff.go.jp/j/seisan/kaki/flower/expo2027.html>

<https://expo2027yokohama.or.jp>（開催主体「2027年国際園芸博覧協会」のウェブサイト）

---

《 新着情報 》

◇ 水田における作付意向について（令和8年産第2回中間的取組状況（4月末時点））

農林水産省では、水田農業に関して産地・生産者が主体的に作付けを判断し、需要に応じた生産・販売を行うことができるよう、きめ細やかな情報提供を行うこととし、その一環として、都道府県農業再生協議会及び地域農業再生協議会が、需給動向や関連対策を踏まえて見込む作付意向を聞き取り、都道府県別及び地域農業再生協議会別の作付意向（中間的取組状況）を公表しているところです。

この度、令和8年産第2回中間的取組状況として、都道府県別の4月末時点の作付意向を公表しましたのでお知らせします。

令和8年4月末時点の主食用米の作付意向は、1月末時点から0.2万ha増加し、136.3万ha（対前年0.4万ha減）となっています。

都道府県別及び地域農業再生協議会別の作付意向等詳細については、以下のウェブサイトをご覧ください。

[https://www.maff.go.jp/j/press/nousan/s\\_taisaku/260520.html](https://www.maff.go.jp/j/press/nousan/s_taisaku/260520.html)（プレスリリース）

<https://www.maff.go.jp/kinki/press/sinko/260520.html>（プレスリリース）

#### ◇ 米に関するマンスリーレポート（令和8年5月号）の公表について

需要に応じた生産・円滑な米取引に資するよう、米に関する価格や需給の動向に関するデータを集約・整理した「米に関するマンスリーレポート（令和8年5月号）」が公表されましたのでお知らせします。

今月号では、「水田における作付意向（令和8年産第2回中間的取組状況：令和8年4月末時点）」及び「需要に応じた多様な米の作付け」を特集しています。

米の価格や在庫量など、米流通等に関する直近の情報を取りまとめたマンスリーレポートは、以下のウェブサイトをご覧ください。

[https://www.maff.go.jp/j/press/nousan/kikaku/260520\\_1.html](https://www.maff.go.jp/j/press/nousan/kikaku/260520_1.html)（プレスリリース）

#### ◇ 令和7年産米の相対取引価格・数量について（令和8年4月）

農林水産省は、「令和7年産米の相対取引価格・数量（令和8年4月）」について取りまとめたのでお知らせします。

全銘柄平均価格等は以下のとおりです。

<全銘柄平均価格・合計数量>

相対取引価格 33,447円/玄米60kg税込（対前月比100%）

相対取引数量 78,579玄米トン（対前月比53%）

滋賀県産の主要品種銘柄別データなどの詳細は以下のウェブサイトをご覧ください。

<https://www.maff.go.jp/j/press/nousan/kikaku/260520.html>（プレスリリース）

#### ◇ 「農業の生産性の向上のためのスマート農業技術の活用の促進に関する法律」に基づく生産方式革新実施計画の認定について

滋賀県の事業者から申請された生産方式革新実施計画を、新たに5件認定しました。

詳細については、以下のウェブサイトをご覧ください。

<https://www.maff.go.jp/kinki/press/kankyoy/260521.html>（プレスリリース）

#### ◇ 第2回「食と農をつなぐアワード」募集開始について

農林水産省は、「ニッポンフードシフト」事業の一環として、食料・農業・農村基本法等の趣旨を踏まえ、生産者・食品事業者から消費者まで、食料システムに関わる関係者・関係団体間の相互理解と連携・協働を促す優良な取組を行う企業・団体・個人を令和7年度から表彰しています。

○応募期間は、令和8年5月25日（月曜日）から令和8年7月27日（月曜日）まで。

○応募対象は、食料システムに関わる、関係者の相互理解と連携・協働を促す取組を行う企業・団体・個人。

詳細については、以下のウェブサイトをご覧ください。

[https://www.maff.go.jp/j/press/kanbo/anpo/260525\\_1.html](https://www.maff.go.jp/j/press/kanbo/anpo/260525_1.html)（プレスリリース）

#### ◇ 第2回「FOOD SHIFT セレクション」募集開始について

農林水産省は「ニッポンフードシフト」事業の一環として、国産農林水産物を積極的に選んでもらうため、優れた産品を令和7年度から募集し、「FOOD SHIFT セレクション」としてその魅力を発信しています。

○応募期間は、令和8年5月25日（月曜日）から令和8年7月27日（月曜日）まで。

○応募対象は、国産農林水産物の積極的な選択の推進に資する産品。

詳細については、以下のウェブサイトをご覧ください。

<https://www.maff.go.jp/j/press/kanbo/ampo/260525.html> (プレスリリース)

#### ◇ 令和8年度「輸出に取り組む優良事業者表彰」募集開始について

農林水産物・食品の輸出の発展に向け、「地域ぐるみでの輸出産地の形成」、「輸出可能品目の拡大」、「新たなジャンル（健康食品、中食）の開発」、「輸出ロットの拡大等による価格競争力の強化」、「新市場の開拓」、「輸入規制の緩和・撤廃への働きかけ」などの観点から顕著な実績を挙げている農林水産物生産者、企業、団体及び個人を広く発掘し、その取組内容を表彰、食品の輸出に関心のある方々に広く周知することにより、新たに輸出にチャレンジする方々への一助となることを目的として「輸出に取り組む優良事業者表彰」を実施します。

○令和8年度輸出に取り組む優良事業者表彰の募集を令和8年5月20日（水曜日）より開始！

○応募締め切りは、令和8年7月31日（金曜日）まで。

○応募対象は、農林水産物・食品の輸出に関わる業務に携わる団体（企業、法人及び任意団体等）又は個人。

詳細については、以下のウェブサイトをご覧ください。

[https://www.maff.go.jp/j/press/yusyutu\\_kokusai/s\\_keisei/260525.html](https://www.maff.go.jp/j/press/yusyutu_kokusai/s_keisei/260525.html) (プレスリリース)

---

#### ◆ 農林水産省補助事業の主な公募情報

・令和8年度米穀周年供給・需要拡大支援事業のうち民間備蓄実証事業支援に係る公募について詳しくはこちらをご覧ください。

なお、公募結果は公募事業ページの下段に掲載しています。

<https://www.maff.go.jp/j/supply/hozyo/index.html> (補助事業参加者の公募)

---

#### 【審議会・検討会等の開催情報】

・第123回コーデックス連絡協議会（6月16日）

・令和8年度（第65回）農林水産祭「優秀農林水産業者に係るシンポジウム」

（コメ輸出の道を農家3人で切り拓き、輸出を通じて地域の活性化に貢献）（6月10日）

※ 主な会議等の開催情報としてお知らせしています。

これまでに公表された会議等の開催情報はこちらをご覧ください。

<https://www.maff.go.jp/j/pr/event/kaigi.release.html> (会議等の開催情報)

---

#### 《 お知らせ 》

##### ○ 農林水産省ウェブマガジン aff（あふ）4月号の最新配信のご案内

aff（あふ）2026年4月号の特集は、「豚」です。

第5回の配信は、『豚肉で作る日本の郷土料理』です。

おいしくて栄養価に優れた豚肉は、全国各地の郷土料理にも多く使われています。

そこで今回は、豚肉で作る日本の郷土料理をご紹介します。

aff（あふ）の特集は、毎週水曜日の配信です。

<https://www.maff.go.jp/j/pr/aff/index.html>

##### ○ 統計公表情報

・令和7年産みかんの栽培面積、結果樹面積、収穫量及び出荷量、その他かんきつ類の栽培面積（5月26日）

・令和7年産りんごの栽培面積、結果樹面積、収穫量及び出荷量（5月26日）

・令和6年度食品流通段階別価格形成調査（水産物調査）結果（5月22日）

<https://www.maff.go.jp/j/tokei/index.html#t>

---

## 《 日常的に活用できる情報 》

予算情報    みどりの食料システム戦略    食料・農業・農村基本計画  
補助事業    MAFF アプリ    経営所得安定対策・水田活用直接支払交付金  
米政策・麦・大豆    野菜・果樹・花き    茶・薬用作物・こんにゃく  
収入保険    有機農業・環境保全型農業    農業生産工程管理（GAP）  
畜産    地域計画    就農情報・農業分野における外国人受入  
スマート農業・農業技術・農業用ドローン    農林水産物・食品の輸出  
インボイス制度    メールマガジン・ソーシャルメディア    農林水産統計  
などのリンク先はこちらからご覧ください。

[https://www.maff.go.jp/kinki/tiiki/siga/20230113\\_mailmagazine.html](https://www.maff.go.jp/kinki/tiiki/siga/20230113_mailmagazine.html)

---

## 《 近畿農政局滋賀県拠点からのお知らせ 》

### ◆ 近畿農政局滋賀県拠点メールマガジンをご覧の皆様へ

- ・ご意見・ご感想・ご要望などもお待ちしております。
- ・当メールマガジンの登録内容の変更（アドレス等）、配信停止連絡はこちらへ  
e-mail : [kinki\\_mailmaga\\_shiga@maff.go.jp](mailto:kinki_mailmaga_shiga@maff.go.jp)
- ・「近畿農政局滋賀県拠点メールマガジン」の新規配信登録、バックナンバーはこちら  
[https://www.maff.go.jp/kinki/tiiki/siga/index\\_2012.html](https://www.maff.go.jp/kinki/tiiki/siga/index_2012.html)

### ◆ 農政に関するご相談、ご質問は地方参事官ホットライン(滋賀県拠点)へ

近畿農政局滋賀県拠点では、農業者・消費者・行政・農業団体等の関係者の皆様から、農政に関するご相談、事業や制度へのご質問などを地方参事官ホットラインで受け付けていますので、お気軽にご相談ください。

電話：077-522-4261

[https://www.contactus.maff.go.jp/j/kinki/form/hotline\\_shiga2812.html](https://www.contactus.maff.go.jp/j/kinki/form/hotline_shiga2812.html)

所在地：〒520-0044 滋賀県大津市京町 3-1-1 大津びわ湖合同庁舎（6F）

近畿農政局滋賀県拠点地方参事官室

---

☆ 個人情報保護のため、農林水産省外の方へは bcc にて送信しております。